

医薬経済・イノベーション評価研究会（略称：キヤノンHTA研究会）

2015年1月28日（水）開催 第28回研究会 議事録

- I. オリジナル研究発表（神戸大学大学院 博士課程 荒木大治氏）  
「医療技術経済評価における費用対効果受容曲線の表示方式の改良」  
医療技術の経済評価で一般的によく用いられるようになった費用対効果受容曲線について、従来の方法では表示されなかった2つの点：
  - 1) 費用対効果に優れる3つの異なる条件を考慮して、曲線をゾーン分けする
  - 2) 閾値以下で受容される増分費用対効果比の平均値を表示するを可能にする方法とそのコンピューター・シミュレーションによる例証が報告された。
- II. バンコクでの国際HTA政策フォーラムの報告（鎌江）  
明治大学国際総合研究所主催、東大公共政策大学院医療技術評価・政策学講座共催で、国民皆保険制度と医療技術評価の関連と展望についての日本とバンコクの比較研究フォーラムが開催されたことについて報告があった。
- III. 本年のCIGS-HTA研究会の内容について  
本年の毎月の定例会では、できる限りHTAに関連する外部スピーカーによる講演を組み込んでいく旨が了承された。4月定例会(22日)は、中医協費用対効果評価検討部会の部会長・東大教授 田辺国昭先生のご講演を予定。

次回開催予定は2月18日

文責：研究会メンバー、鎌江